

十分検討してまいります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

阿部議員。

○2番（阿部裕和君）

市民会館でも、相当な数の公演やっているとすけれども、本物の人というかプロの方もいっぱい来られていますし、そういったときに親子で触れ合ってもらおうというのは相当効果的なんじゃないかなというふうに思いますので、ぜひとも検討を進めていってください。

こういった取組を進めることで、家庭においての子育て力というものの強化につながっていき、また、子育てに優しい糸魚川というのを、その家族が実感できるというふうにもつながっていくと思っております。今後の取組に注視したいと思えますし、期待しております。どうもありがとうございました。

○議長（松尾徹郎君）

以上で、阿部議員の質問が終わりました。

関連質問はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

関連質問なしと認めます。

ここで、暫時休憩いたします。

再開を45分といたします。

〈午後1時37分 休憩〉

〈午後1時45分 開議〉

○議長（松尾徹郎君）

休憩を解き、会議を再開いたします。

次に、田原洋子議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田原洋子議員。〔7番 田原洋子君登壇〕

○7番（田原洋子君）

こんにちは。名前、田原洋子です。

それでは、通告書に基づき、1回目の質問をします。

1、公営住宅について。

糸魚川市には住宅に困っている人のために、市営住宅と県営住宅があります。

入居資格には世帯の合計所得月額があるため、子供が就職して世帯所得が増えると入居資格から外れてしまい転居を余儀なくされる場合があります。しかし、数年後、その子供が独立して世帯が

別になった場合は再び入居資格を満たすため、再度入居したいと思う方もいるのではないのでしょうか。

引っ越しは金銭的、体力的、手続にも負担があるため、世帯収入が多くなった場合は家賃が上がっても住み慣れた場所で住み続けたい、という声があります。

また、車の免許を持たない方には買物や通院に不便な立地にあること、足腰に不安がある方にはエレベーターのない上層階は入居する際の大きな壁となることが想像できます。

さらに、建設当時から社会情勢、ライフスタイルは変化しており、最近では、エアコンとインターネットの設備が既に完備されている物件が人気となっています。

これらを踏まえ、以下の項目について伺います。

- (1) 市営住宅と県営住宅の入居率はどれだけありますか。
- (2) 入居率の高い住宅と、入居率の低い住宅の要因は何ですか。
- (3) 入居率を上げるための施策は検討していますか。
- (4) 世帯所得月額と家賃の見直しは検討していますか。
- (5) 市営住宅の需要と供給のバランスは取れていると考えていますか。
- (6) 市営住宅の統廃合と民間譲渡は検討していますか。
- (7) 市営住宅が抱える課題は何と捉えていますか。

2、高圧水銀ランプの製造終了とLED切替えについて。

2017年8月に「水銀に関する水俣条約」が発効し、「水銀による環境汚染の防止に関する法律」が施行されました。2020年12月31日から一般照明用の高圧水銀ランプの製造及び輸出入は、水銀量の含有量にかかわらず原則禁止となっています。

一般照明用の高圧水銀ランプは、公園の外灯、スポーツ施設のナイター設備、体育館の照明などに多く使われています。

家庭に普及している蛍光灯は禁止されているわけではありませんが、一部のメーカーで生産が終了しつつあり、LEDは蛍光灯に比べて価格が高い反面、同じくらいの明るさを照らすのにLEDは消費電力が少ないこと、寿命が長いこと交換の手間と費用がかからないというメリットもあります。

経済産業省資源エネルギー庁による平成30年度電力需給対策広報調査事業の結果、家庭での消費電力割合はエアコン、冷蔵庫に続いて、夏は照明が3番目に多く、冬は給湯に次いで照明が4番目に多くなっています。

これらを踏まえて、以下の項目について伺います。

- (1) 糸魚川市の公共施設で使われている高圧水銀ランプは何か所あり、LED化率はどれだけありますか。
- (2) 高圧水銀ランプ全てをLEDに交換する場合、費用と年数はどれだけかかると試算していますか。
- (3) 高圧水銀ランプをLEDに切り替えた場合、電気料金はどれだけ下がると試算していますか。
- (4) 公共施設の蛍光灯をLEDに入れ替える計画はありますか。
- (5) 市民にLEDは消費電力が少なく環境に優しい、と切替えを促進する考えはありますか。

### 3、羅漢和尚について。

玉瑞和尚は、1807年、西海村大久保（今現在の市野々）で庄屋、猪又長左エ門の二男として生まれ、8歳で西海の羽生にある耕文寺で仏門に入り、29歳で蓮台寺の昌禅寺17世の住職になりました。

1842年に長年の托鉢で浄財を集め、蓮台寺に500体の石仏を安置した五百羅漢を完成させたことから、羅漢和尚と呼ばれています。

また、1866年に早川の谷根、月不見の池近くに15年かけて越後八十八ヶ所を完成させ、さらに各地の峠や山頂に石仏をつくり、行き交う人々の安全を祈り、道しるべとしても役に立っていたと言われていています。

最後は生まれ故郷の大久保に自分の墓をつくり、ひっそりと暮らし77歳で生涯を閉じました。

羅漢和尚の墓は大きな自然石を使い、横長で船のような形をしていて、経文などが彫刻されています。

これらを踏まえ、以下の項目について伺います。

- (1) 羅漢和尚の足跡を巡る歴史講座を開く予定はありませんか。
- (2) 大久保の羅漢和尚の墓には行けますか。
- (3) 紙芝居「羅漢和尚の墓」を見る機会はありますか。
- (4) 羅漢和尚にゆかりのある西海、蓮台寺、早川の子供たちが羅漢和尚を学ぶ機会はありますか。

以上で1回目の質問を終わります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

田原洋子議員のご質問にお答えいたします。

1番目の1点目につきましては、5年3月末現在で、市営住宅が約69%、県営住宅が約73%であります。

2点目につきましては、入居率は立地条件が大きく影響しており、買物や通院に便利な住宅は、ほぼ空きがない状況であります。反面、市街地から離れている住宅は、入居率が低い傾向にあります。

3点目につきましては、社会情勢の変化に伴い、入居希望者のニーズに合わなくなっている面もあることから、今後の公営住宅の在り方について検討いたしております。

4点目につきましては、家賃算定方法は法律で定められており、所得に応じて段階的に決定いたしております。

5点目につきましては、現在、入居者が減少している状況であります。

6点目につきましては、入居者がなくなった住宅は、除却や民間譲渡を進めてまいります。

7点目につきましては、住まいのセーフティーネットとしての公営住宅を堅持しつつ、今後の社会動向に合わせた住宅行政を進めていく必要があると考えております。

2番目の1点目につきましては、高圧水銀ランプを使用している道路照明灯は295灯あり、L

LED化率は約48%となっております。スポーツ施設は1施設あり、LED化率は約3%となっております。

2点目と3点目につきましては、道路照明灯を例にしますと、交換費用は約6,700万円。期間は3年程度要し、年間約400万円の削減になると試算しております。

4点目につきましては、本庁舎の事務室ではLED化を実施しており、引き続き他の施設においても計画的に進めてまいります。

5点目につきましては、ホームページなどで周知してまいります。

3番目のご質問につきましては、この後、教育長から答弁いたしますので、よろしくお願いいたします。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度のご質問によりましては、所管の部課長からの答弁もありますので、よろしくお願いいたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

    蘆本教育長。〔教育長 蘆本修一君登壇〕

○教育長（蘆本修一君）

    田原洋子議員のご質問にお答えいたします。

    3番目の1点目につきましては、今のところ歴史講座を行う予定はありません。

    2点目につきましては、市道御前山線を経由して、お墓に行くことが可能であります。

    3点目と4点目につきましては、ホームページのユーチューブ系魚川チャンネルで掲載しているほか、市民図書館でも貸出しが可能となっており、利用について周知してまいります。

    以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

    田原洋子議員。

○7番（田原洋子君）

    では、順番どおり、再質問をしたいと思います。

    1の公営住宅について再質問いたします。

    まず最初に、県営住宅と市営住宅の違いがあるのかを教えてください。

    市民の方には、県営だから家賃が安かったり、管理とか支払い先は新潟県なのかとお聞きされました。違いがあるのかどうか、確認させてください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

    長崎建設課長。〔建設課長 長崎英昭君登壇〕

○建設課長（長崎英昭君）

    お答えします。

    今ほど言われました県営住宅、市営住宅につきましては、建物の所有者が、新潟県か魚川市の

違いでありまして、いずれも公営住宅法により、家賃算定とか運営を行っておりますので、県営住宅のほうにつきましては、県から委託を受けて管理運営しているところでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田原洋子議員。

○7番（田原洋子君）

では、公営住宅法に基づいたということなので、制度はほぼ一緒と考えて続けます。

この質問をするきっかけになったのは、糸魚川市が今年度から始めようとしている新婚世帯の家賃や引っ越しなどを補助する結婚新生活支援事業補助金が報道にあったときに、市民の方から家賃補助してあげるんなら、空いてる市営住宅に安く住ませてあげたらどうなんだというご意見があったからです。

先ほどの課長の答弁で、公営住宅法に基づき、家賃やその算定基準とかが決まっているんですが、ちなみに、夫婦2人で新婚世帯が住む場合、家族全体の所得を合計した基準額は幾らになるんでしょうか。

○議長（松尾徹郎君）

暫時休憩いたします。

〈午後1時57分 休憩〉

〈午後1時58分 開議〉

○議長（松尾徹郎君）

休憩を解き、会議を再開いたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

長崎建設課長。〔建設課長 長崎英昭君登壇〕

○建設課長（長崎英昭君）

休憩を、大変失礼いたしました。

世帯の合計基準額ということで、原則から言うとですね、15万8,000円でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田原洋子議員。

○7番（田原洋子君）

15万8,000円ということなので、入居基準を満たさない夫婦が多くなれば、空いてるからといって、市営住宅に入れるわけではないということが理解できました。

では次に、現在住んでる方の世帯収入が増えた場合についてお聞きします。

国土交通省の公営住宅の制度については、入居者資格の収入基準である月額25万9,000円

を超えた場合、3年以上入居していると明渡し努力義務が発生し、5年以上入居し、最近2年間、月収が31万3,000円を超えると、明渡しを要求することができますとありますが、糸魚川市では、実際に明渡しを求めた事例はあるのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

長崎建設課長。〔建設課長 長崎英昭君登壇〕

○建設課長（長崎英昭君）

入居を希望する低所得者への提供を優先する制度でございますけども、ほぼ住宅が満室で、空き住宅がなかった頃は、そういったケースもあったかと存じますが、近年、入居者、入居率が低いため、基準を超える収入での明渡しという事例はございません。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田原洋子議員。

○7番（田原洋子君）

では、その低い入居率なんですが、昔は、今高かったとお聞きしたんですが、どのように変化していますか。さらに今後、70%から、まだ下がる予想でいるのか、70%をキープしていく予想でいるのか、どのように予想しておりますか。

また、実際に、県営、市営合わせて何戸あって、現在、何戸入居してる状況でしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

長崎建設課長。〔建設課長 長崎英昭君登壇〕

○建設課長（長崎英昭君）

ちょうど市町村合併をしました平成17年度でありますと、約97%という高い入居率でありましたが、その後、徐々に下降しまして、昨年度、令和4年度では、約70%となりまして、約3割ほど減少している状況でございます。こういった状況が続きますと、今後も減り続けるんじゃないかなということで推測されます。

また、戸数につきましては、令和4年度末で、管理戸数が512戸で、入居戸数が360戸でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田原洋子議員。

○7番（田原洋子君）

約3割、約150戸が空き部屋ということですが、先ほど市長答弁で、立地が大きな原因だと考えられると答弁いただきましたが、ほかにも民間アパートとの違いなどで理由が考えられるかと思えます。原因で、大きなものは何だと考えておりますか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

長崎建設課長。〔建設課長 長崎英昭君登壇〕

○建設課長（長崎英昭君）

様々な要因があると考えられるんですけども、議員先ほどおっしゃったように、エアコン、インターネット、あとウォシュレット完備という民間アパートが増えている状況に対しまして、公営住宅のほうは、従来の立地で、建物が徐々に古くなっていることから、やはり住まいの魅力低下につながっているものと考えられます。

また、住宅ニーズの変化によりまして、今3DKの家族向けの間取りでは、やはり床面積が広過ぎて、家賃が割高になるということも一因であると考えられておりますし、人口減少についても、要因の一つではないかというふうに捉えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田原洋子議員。

○7番（田原洋子君）

条例改正により、令和2年度から入居資格の同居する親族がいることという条件がなくなり、単身者の入居が可能になったため、余計に家族向けの3LDKといったような広い部屋の需要が減っているのではないかと思います。この単身者に入居資格を広げた背景には、どのようなものがあるのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

長崎建設課長。〔建設課長 長崎英昭君登壇〕

○建設課長（長崎英昭君）

お答えします。

やはり公営住宅ができた当時は、やはりファミリー向けということで3DKとかあったんですけども、やはり近年の傾向を見ますと、単身世帯が非常に増えてる。全国的に増えている状況もありますので、そういった背景を見まして、こういった改正につながったというふうに捉えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田原洋子議員。

○7番（田原洋子君）

ちなみに単身者の入居は、例えば男性が顕著に多いとか、女性のほうが多いとかいった傾向はあるのでしょうか。

また、夫婦、独り親で子供が1人などといった、2人で暮らしている方は、どのぐらいいますか。

国土交通省の公営住宅の年齢別入居戸数の推移と世帯の収入区分の推移というグラフを見ると、60歳以上の高齢者世帯が増えて、所得の低い方の割合が増えているということが分かります。糸魚川市では、どのような傾向がありますか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

長崎建設課長。〔建設課長 長崎英昭君登壇〕

○建設課長（長崎英昭君）

当市の入居状況につきましては、現在、単身者が、男性が約2割、女性が約2割でありますけども、若干、女性のほうが多い状況でございます。また、2人世帯のほうも、約3割となっております。単身と2人世帯で、全体の約7割を占めている状況でございます。

また、国の傾向と同様に、当市におかれましても高齢世帯や低所得者世帯の割合が増えている状況でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田原洋子議員。

○7番（田原洋子君）

高齢者、低所得者、単身者が多いということは、住宅の提供という点だけではなく、生活の不安など抱えている課題があるのではないかと思います。全国的に保証人が確保できずに入居ができない。入居しても家賃の滞納がある。ごみを捨てられず、ためてしまうなどの課題があるとお聞きしております。

糸魚川市の場合、保証人は、原則、市内在住者となっておりますが、市外にも保証人がいない場合は、保証人の免除、もしくは法人保証を認める措置は導入しているのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

長崎建設課長。〔建設課長 長崎英昭君登壇〕

○建設課長（長崎英昭君）

今ほどおっしゃられた件につきましては、福祉事務所をはじめとしまして、他の部署と情報共有しながら、密に連絡調整をしております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田原洋子議員。

○7番（田原洋子君）

そうですね、管理は建設課なんですけど、やはり家賃滞納に陥った場合、その理由が、失業や入院といったような不安事、それから生活の大きな変化によるものとなった場合は、福祉事務所の出番だと思います。入居者が置かれている心配事や困り事の対応は、どのように具体的にされていますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

長崎建設課長。〔建設課長 長崎英昭君登壇〕

○建設課長（長崎英昭君）

当課のほうには、公営住宅の関係で、様々な意見とか相談事のほう寄せられております。

今ほど議員おっしゃるように、今後、福祉事務所をはじめ、他の部署と引き続き情報共有や連絡のほうを密に取りながら、対応のほう、当たっていきたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）



田原洋子議員。

○7番（田原洋子君）

この公営住宅というのは、住む場所の確保というのの大きな役割を果たしています。住む場所が安定していないと、例えば何か就職するにしても、住居不定になってしまうとか、例えば何か支給をするときに住所が書けないとかいった大きな問題になるので、ぜひ丁寧な対応をしていただきたいと思います。

先ほど一人暮らしとかが多くなったので3LDK、中には2LDKというのがありますね。国勢調査で調べると、持ち家率は大きな変化はないんですが、1980年代に比べて、公営の借家、つまり公営住宅が減って、民間の借家、アパートなどがとても増えてる傾向があります。公営住宅の役割も、先ほどから何度もおっしゃってるみたいに、役割も変化しております。

ただ、このまま空き部屋が多く、家賃収入の減少が続いていると、今後の修繕費、建て替え費用などの財源不足に陥ることが予想されます。空いている3割、150戸を埋める方向でいくのか、それとも戸数を減らして、スリム化していくのか、どのような方針でしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

長崎建設課長。〔建設課長 長崎英昭君登壇〕

○建設課長（長崎英昭君）

空き住宅のほうにつきましては、別の活用を考えることと、あと減らしていくことの両方を行っていく必要があると捉えております。既存の建物につきましては、入居状況とか、あと立地の周辺環境を勘案しまして、例えば別な用途で活用する住宅とか、あと民間譲渡する住宅、もしくは除却する住宅等ですね、振り分けて、今後進めてまいりたいと考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田原洋子議員。

○7番（田原洋子君）

そうですね、たとえ公営住宅に空きがあっても、お子さんがいる場合は転校させたくないの、同じ校区内で住み続けたいとか、住居を探したいって方もいらっしゃる。また、高齢者の方は、買物や通院に便利なところに住みたい、エレベーターがあったほうがいいのかもあります。

先ほど私も言っている、結婚するときに親から独立しても、まず収入が限度、基準を超えてしまうため、市営住宅が選択肢に入らないと思っていくと、今後、入居率を引き上げるのは、なかなか難しいと思っています。

ただ、大事なところは、民業圧迫にならないという前提を守らなきゃいけないのではないかと考えています。

商工観光課長にお聞きします。

ちなみに、テレワークオフィス、クラブハウス美山は、宿泊と食事を作るスペースがないため、近くにある美山住宅で、例えば滞在できたら、長いスパンで糸魚川にとって取り組めることが増えてくるのではないかと思うのですが、そのような使い方はどうでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

お答えいたします。

斬新なアイデアありがとうございます。今ほどのクラブハウス美山につきましては、コワーキングスペースとしましてテレワーカー、またワーケーションの事業等にご利用いただいております。長期的に滞在される方につきましては、クラブハウス美山で泊まりたいなという旨を、意見を聞いたこともありますが、残念ながら、今ほどお話ありましたように、宿泊機能は有しておりません。そのため、市内の宿泊施設で滞在されてるというのが実態でございます。

そのような中、今回、ご提言いただいております美山の住宅の活用なんです、やはりあのクラブハウス美山までの交通手段、また、美山の住宅を維持管理する、そういった経費等を考慮する中で、それが可能かどうか、可能性を調査させていただきたいなと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田原洋子議員。

○7番（田原洋子君）

次に、企画定住課長にお聞きします。

多数の方からご予約をいただいている、6泊までしかできない移住体験交流施設水上があると思うんですが、これ6泊までってことは1週間です。1週間ではなく、1か月とかそういうスパンで住んで、糸魚川のよさとか、移住の実体験につなげたいなと思う方について、そういう市営住宅を使うという方法は考えられないのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村企画定住課長。〔企画定住課長 中村淳一君登壇〕

○企画定住課長（中村淳一君）

お答えいたします。

水上につきましては、山村地域での居住体験といった視点でも活用いただいているものというふうに考えております。移住をされた方が、実際に中山間地のほうに住んでいただいて、そっからの商店までの距離だとか、そういった利便性も含めてお考えいただくといったところで考えているものでございます。

ただ、議員ご提案のように、公営住宅がもし使える、法的なところはあろうかと思えますけれども、使えるとなれば、例えば町なかに移住をされたいという方の移住体験といった施設での利用も考えられなくはないと思っておりますので、また、建設課のほうとも相談をしてみたいと思っております。一応、民業との兼ね合いもあろうかなというふうには考えてございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田原洋子議員。

○7番（田原洋子君）

このほかに私ずっと言っている、結婚前の若者に一人暮らしをさせるための住宅や、あと入籍前のカップル、それからシェアハウスのように3LDKあるんなら、友達同士や仲間と住みたい。あとコレクションの保管などの倉庫代わりに使いたいとか、その市営住宅って空いてるよねって話になったときに、いろんなアイデアが出ました。

ただ、従来の目的と違うことに利用するためには、用途変更など、クリアしなければいけない法律や条例が出てくると思います。条例や法律で変更しなければいけないものは、何がありますか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

長崎建設課長。〔建設課長 長崎英昭君登壇〕

○建設課長（長崎英昭君）

いろいろとご提言ありがとうございます。

公営住宅は、公営住宅法や特定優良賃貸住宅法の規定、制限があります。若者向け世代住宅や市単独住宅に再編するには、市営住宅条例から特定賃貸住宅条例への条例改正が必要となります。

また、さらに公営住宅以外で使用していく場合は、用途廃止を経て、使用するための様々な施策と協議、調整を十分に行っていく必要があると考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田原洋子議員。

○7番（田原洋子君）

今現在減っていて、今後も入居が増えていく予定がないのであれば、今少しずつちょっと考えていかなければいけないかと思います。

もう一つだけ、私の周りでこんな話がありました。

お父さんが市外、ちょっと遠くに住まれてる方が一人暮らしを続けていて、家の中で倒れていたら誰にも気づいてもらえないんじゃないかとか、やっぱり車の免許返納をしなきゃいけないんじゃないかとか考えて、中山間地よりも町なかとか、一緒に誰かと暮らすための選択肢をしたときに、持ち家を持ってる以上、やっぱり公営住宅に入れんじゃないかということで、ケアハウスに入居された方がいます。

入った当時は、食事も出てくる、空調も効いている。雪かきもせんでええ、至れり尽くせり、こりゃええと思ったんですって。だけど、何か月か住んでるうちに、自分のことは自分でできていたのに、特に食事とか身の回りの世話とかは、自分でできるのに何か全部やってもらって、俺、一気に年取ったようだとおっしゃるんですね。このように、介護の必要がなくて自炊もできるんだけど、1軒家に1人で住むには不安があるという単身者の高齢者のために、住宅というのにも必要になってくるのではないかなと思っています。

時代の変化、ニーズの変化に応じて、公共住宅の在り方を検討していただければと思います。

では、次の2、高圧水銀ランプの製造中止とLED切替えについて移ります。

糸魚川市のホームページが8月31日に更新され、LEDは省エネ、一般電球と比べると約85%も消費電力を抑えることができ、それだけ排出するCO2も少なくなると周知をしていただ

きまして、ありがとうございます。このLEDの特性について、農林水産課長にお聞きします。

LEDは、紫外線、赤外線をほとんど含んでいませんが、LEDではない従来の電灯が、農作物に与える影響はありませんか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

星野農林水産課長。〔農林水産課長 星野剛正君登壇〕

○農林水産課長（星野剛正君）

お答えいたします。

農産物、特に稲ですとかハウレンソウ等に影響がありまして、稲では、穂が出る時期が遅くなるなどの影響が発生する可能性があるというふうに認識しております。それと、従来の電灯につきましては、虫が好きな紫外線ですか、紫外線が流れておりますので、やはり虫が集まるということで、近くの農作物への病害虫の被害というものも想定されるかというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田原洋子議員。

○7番（田原洋子君）

次に、文化振興課長にお聞きします。

同じくLEDに切り替えることで、展示している文化財保存状態は、どのように影響されると思いますか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

嵐口文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 嵐口 守君登壇〕

○教育委員会文化振興課長（嵐口 守君）

お答えいたします。

赤外線、紫外線等は、たしか蛍光灯ですと、作品等に影響があると聞いておりまして、例えばフォッサマグナミュージアムあたりでは、LEDに換えております。あとハロゲンランプ等を使っているところもありますけども、おっしゃるとおり蛍光灯も換えていきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田原洋子議員。

○7番（田原洋子君）

つまりLED化するという事は、環境に優しいだけではなく、農作物への影響、文化財の保護などといったものにも関わってくるということが分かりました。

ちなみにこの公共施設でLED化が進んでない施設はあるのでしょうか。ここの議場の照明は、全てLED化されたのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺総務課長。〔総務課長 渡辺 忍君登壇〕

○総務課長（渡辺 忍君）

お答えいたします。

議場につきましては、半分LED化してまして、半透明ガラスといいますか、あそこの部分の上  
が蛍光灯になっておりまして、そこはLED化しておりますが、丸いところは水銀灯でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田原洋子議員。

○7番（田原洋子君）

なぜ水銀灯が残ってるんでしょうか。これは計画に入ってるんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

渡辺総務課長。〔総務課長 渡辺 忍君登壇〕

○総務課長（渡辺 忍君）

お答えいたします。

10年ほど前になるかと思いますが、平成24年度頃に、いわゆるLED化を進めようといった  
ことで、庁内の蛍光灯をほとんどLED化するというのでやりました。

ただ、当時は、蛍光灯についてはLEDあったんですけども、それ以外の器具等についてはなか  
なか出回っておらないというところで、とりあえず蛍光灯から先に全部LED化しようということで、  
各事務室も併せて、庁内のLED化を進めたということで、それ以外の器具については残っており  
ますし、一部冷暖房というか空調とセットになった照明もございますので、その辺りは、まだ残っ  
ておるとい状態でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田原洋子議員。

○7番（田原洋子君）

今、総務課長がおっしゃったみたいに、器具の問題だったりとか工事の問題だとかあると思いま  
す。糸魚川市でも、大型の除雪車が、社会情勢とかの影響で納期が遅れたりとか、間に合わないん  
じゃないかということがありました。このLEDに切り替えるときも、入荷待ちだったり、あと例  
えば工事を行う事業者の人手不足だったりとかいうことも原因になってくるかと思えます。

ちなみに、令和3年度の繰越しで、令和4年度に青海総合福祉会館と親不知交流センターまるた  
ん坊のLED化工事が行われています。これを次年度に繰り越した理由は何でしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

猪又青海事務所長。〔青海事務所長 猪又悦朗君登壇〕

○青海事務所長（猪又悦朗君）

お答えいたします。

こちらのほうにつきましては、新型コロナウイルスの影響で、海外からの部品、器具のほうが、

調達が遅れたということの理由であります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田原洋子議員。

○7番（田原洋子君）

ということは、使用する器具とかによっては入荷が入ってこないとかもあると思うので、糸魚川市がLED化を工事進めるときに、この器具だったら、今はもう入ってくるのが分かっているとかがあれば、順番にとか、優先順位をつけて進めていただきたいと思います。

また、糸魚川市には街路灯があって、糸魚川市が管理しているものと、防犯などの目的で地区や団体などが設置しているものがあります。

糸魚川市では街路灯設置補助金がありますが、街路灯を新規に設置するだけではなく、LEDに切り替えする際にも助成金が申請できると、周知はどのように行っているのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

長崎建設課長。〔建設課長 長崎英昭君登壇〕

○建設課長（長崎英昭君）

毎年、この7月から8月、この時期に全地区に街路灯の設置要望書というのを送らせていただきまして、その際に、街路灯、新規のものも、あと更新のものなんですけども、要望の有無のほうを確認させていただきまして、次年度の予算編成に反映させているところでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田原洋子議員。

○7番（田原洋子君）

ありがとうございます。LEDに切り替えるということは、消費電力を抑え、環境に優しいということですね。7月17日、月曜日、祝日に開催された田沢地区公民館主催、糸魚川ジオパーク協議会と、マリフレンドプロジェクト公園の海の日イベントがありました。このときに、フォッサマグナミュージアムの学芸員、香取拓馬さんの講演会があり、「南極の氷が溶けるとどうなる？地球の未来を考えてみよう」というテーマでお話がありました。この最後に、香取さんがすごくとてもいいことを言ったので、お知らせしたいと思います。

地球の環境を守るためには、一人の千歩より千人の一步とおっしゃったんです。教育長、この意味分かりますよね。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

蘆本教育長。〔教育長 蘆本修一君登壇〕

○教育長（蘆本修一君）

お答えいたします。

より大勢の人たちと一緒にの協同、それが大きな力を生むという、そういう意味だと私は受け止めました。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田原洋子議員。

○7番（田原洋子君）

ここにいる皆さんが同じことを思ったと思います。ですので、ぜひ今日からみんなが一步、環境に対して優しくなる行動を起こすように願います。

では、3の羅漢和尚について質問をいたします。

今回、羅漢和尚を取り上げた理由は、ジオパークガイドの方から、公民館や団体などから羅漢和尚の足跡を巡るガイドの依頼があった際は、下見に行くのだが、羅漢和尚のお墓がある大久保の入り口が分からないため、蓮台寺の五百羅漢と早川の越後八十八ヶ所だけになっている。羅漢和尚のお墓は、風化しやすい凝灰角礫岩で作られているため、現在どうなっているのか気になっているというお話があったからです。

羅漢和尚のお墓まで行けるということは、実際に大久保まで確認に行ったのだと思いますが、その際、簡単に大久保までたどり着けましたか。手前の余山・川久保に入る道もあるので、間違えなかったか、まず確認させてください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

嵐口文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 嵐口 守君登壇〕

○教育委員会文化振興課長（嵐口 守君）

お答えいたします。

間違えました。それで、その後よくよく調べてみましたら、西海の皆さんが、物すごくすばらしい資料をお作りになられて、全戸配布されております。

市のほうでは、立て看板等、立てる今予定はございませんけれども、こういった案内地図、非常にすばらしいものがありまして、こういったものを周知したりさせていただくのが一番ベストかなと思いました。道は、1回行けば分かるようになっておりますので、ぜひこういったものを活用させていただきたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田原洋子議員。

○7番（田原洋子君）

この大久保の入り口に案内というか看板を作るつもりはないとおっしゃったんですが、あそこ携帯とかスマートフォンの電波が入りにくい場所にあるので、例えばスマートフォンとかで位置情報とか、ここが大久保かって見ようと思っても、なかなかデータが入ってこない場所にあると思うんですね。分かる人だったら、下から、水保のほうから登っていけば、余山・川久保というのは、集落に入っていき道が分かりやすいんですが、大久保というのは、集落の道が見下ろせないのだから分かりにくいんですね。案内には、下に、かつてごみの処分場だったフェンスがずっとこうあって、それが大きな目印になると思うんですが、そういうことを併せて周知していただけないでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

嵐口文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 嵐口 守君登壇〕

○教育委員会文化振興課長（嵐口 守君）

お答えいたします。

文化財につきましては、糸魚川市、今160強と、あと未指定になってる約1,300、かなりありまして、それらについて、看板等というのはなかなか難しい問題がございます。

ただ、西海地区の方におかれましては、大久保の集落の中に、地域づくりの中で、標柱、道しるべを立てていただいております、私もそれを見て、分かりました。となったときに、入り口等、もし地域づくりの皆さん、話の中で、お作りになることがあれば、また相談させていただきたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田原洋子議員。

○7番（田原洋子君）

この何回も言ってる羅漢和尚さんのお墓を見たことがないという方がいるので、私、実際に大久保まで行って、写真を撮ってまいりました。この羅漢和尚さんのお墓というのは、横長で、船の形みたいな、していて、羅漢さんは、生きたままお墓に入ろうと思ったので、蓋があるという形です。この側面の丸いくぼみには、馬だとか魚といったような漢字が一字ずつ刻まれていて、これは教本の文字だとも言われております。風化が進んでいるため、西海の文化財や歴史を守る保存会の中では、屋根をつけて雨をしのげるようにしたらいいんじゃないかというお話が出たこともあったようなんですが、具体化にはなっていません。

糸魚川市としては、この保護のためには、何か手は打っていただけないのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

嵐口文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 嵐口 守君登壇〕

○教育委員会文化振興課長（嵐口 守君）

お答えいたします。

文化財につきましては、所有者もございまして、やはり所有者等との話の中で、お聞きしながら対策を取れるものは取っていきたいと考えておりますが、本年度7月に文化庁の認可を受けました糸魚川市文化財保護活用地域計画がございますけども、それによりますと、令和6年度から開始なんですけど、今、助走期間として、いろんな方からご意見を頂けるようなことは何かないかなと思っております。例えば、所有者の方とか文化財をお持ちの方、地域の方とお話をする中で、行政が全てできるものでもなく、地域も全てできるものでなく、もちろん所有者も同じであります。そういった中で、どういったものがあっても検討していきたいと考えておりましたところ、こういったお話を頂きましたので、またそれも加味しまして、アンケート等を探ってみたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田原洋子議員。



○7番（田原洋子君）

風化して、文字が読めなくなったり、石仏がどんなものであったか分からなくなる前に、ぜひ地域とか持ち主の方とか、皆さんの力を借りて、また進めていただければと思います。

それで、この糸魚川市のホームページと糸魚川市観光協会のホームページに、郷土の人物としてこの玉瑞、つまり羅漢和尚も紹介されているんですが、せめて立派なお墓の写真に掲載することぐらいはできないのでしょうか。

糸魚川市観光協会の文化財伝統芸能のページには、荻田氏三代の墓が、写真つきで紹介されているんですが、私は、羅漢和尚のお墓こそ掲載すべきだと思うんですが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

お答えさせていただきます。

大変申し訳ないですが、私のほうは、観光協会のお墓の写真というのをちょっと確認できておりません。今ほどお話しいただきましたので、どういった形で掲載すればよろしいのかというのを少し調査研究させていただきたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田原洋子議員。

○7番（田原洋子君）

お墓お墓と私言ってるんですが、羅漢和尚というのは、どちらかというと越後八十八ヶ所と五百羅漢のほうが有名ではないかと思います。そこにはお墓があって3点セットになるので、魅力だったりとか、羅漢和尚の一生が分かるのではないかと思っています。

このね、越後八十八ヶ所巡りは、毎年5月下旬になると、下早川地区公民館が申込み先となって、八十八ヶ所巡りの募集があります。

ただ、これがすごく人気で、毎年すぐに満員御礼、キャンセル待ちになります。私も1回申し込んだんですが、キャンセル待ちになって、翌年の参加になりました。せっかくある八十八ヶ所巡りは、観光協会のホームページでは、月不見の池のページに、周辺には、巨岩の間を縫うように歩く強羅巡りや、四国霊場巡りを模した、越後八十八ヶ所巡りがありますというだけなんですよ。これ見た方が、月不水の池に行くんだけど、月不見の池の近くに八十八ヶ所が分からないとなってます。これで、五百羅漢がどこにあるのというと、もう糸魚川市がもうすごく押している観光スポット、翡翠園の隣です。観光面から、もっと羅漢和尚にスポットを当てていただくことはできないのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大西商工観光課長。〔商工観光課長 大西 学君登壇〕

○商工観光課長（大西 学君）

お答えさせていただきます。

今ほど、五百羅漢のお話のほうをいただきましたので、ほかの、また観光資源と併せて、どういったレベルでPRしていけばよろしいかというのを検討させていただきたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田原洋子議員。

○7番（田原洋子君）

私たち世代は、よく遠足とか写生大会とかで五百羅漢に行ったという思い出がある方が多いのですが、残念ながら今の小学生、中学生は、羅漢さんは誰という以前に五百羅漢も行ったことがないとか、あと八十八ヶ所巡りもやったことがないって方が多いんですね。この八十八ヶ所巡りは、もうすごく狭い、巨石と巨石の間を横にならないと通れないようなところとか、しゃがまないと会えない石仏、狭いところに一人一人入ってくようなところもあって、まさに子供にとって自然のアトラクションやあってぐらい面白いところだと思っています。

ぜひこれ教育長、早川公民館だけではなくて、夏休みだとかゴールデンウィークとか、子供を対象にして、歩くだけじゃなくて手も使うんだよ、登ったり降りたりとかしゃがんだりしてみようという、何か体験をしていただけないかと思うんですが、どうでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

蘆本教育長。〔教育長 蘆本修一君登壇〕

○教育長（蘆本修一君）

お答えいたします。

学校教育では、なかなかいろんなスポットがあって、たくさんの方のことを体験させたいんですけども、なかなか現状としては無理な状況が結構あります。お話聞きますというと、西海小学校の子供たちについて、あるいは下早川小学校の子供たちにとっては、地区のエリアの中にジオサイトとしてありますので、これ毎年毎年やってるんじゃないんだそうですけども、その担任の先生がキャッチしたときに、地区の人たちと一緒に探訪したり、あるいは場合によっては緑の少年団の活動に位置づけて、3校の子供たちが一緒に体験学習するというふうな部分もあります。やはりそれとはほかに、やっぱり公民館、あるいは地域の団体の皆さん、そういった人たちが積極的に、協働体制をつくって、親子あるいは子供たちを巻き込むようなイベントみたいなものを、やっぱりあの地域の文化財ですので、学ぶ価値は十分あると思います。直接体験で、ふるさとのよさを学ぶ一つのコースに、これは大変貴重なコースだなんてふうに私は思っていますので、そこら辺りは、地域の皆さん方と一緒に、検討していく必要があるだろうというふうに思っています。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田原洋子議員。

○7番（田原洋子君）

私、この羅漢和尚を取り上げることについて、先ほどの西海の本だったり、いろんなところを調べました。その中で感動したのが、羅漢和尚は、五百羅漢と八十八ヶ所をとにかく長い月日をかけ

て完成させたという諦めないっていう気持ちだったり、実際に四国の八十八ヶ所まで行って、一つ一つ霊場の土砂を持ち帰ってきたという根性、それから、人の幸せのために何より祈って、一つ一つのことを成し遂げて、1つだけで終わらせるのではなくて、また次のことに取り組んだということです。

そこで、また、鶴本教育長にお聞きします。

紙芝居「羅漢和尚の墓」というのもありますが、この羅漢和尚を通じて、子供たちにどのようなことを学んでほしいですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

鶴本教育長。〔教育長 鶴本修一君登壇〕

○教育長（鶴本修一君）

今ほど田原議員さんがおっしゃったその中身の中に、もう答えが出てるように私は受け取らせていただきました。中村栄美子先生の紙芝居も私も見させていただきました。やはり目標の実現、そのために日々の努力とか、やっぱり最終的には継続は力なり、継続は必ず大きな結果をもたらす。成果をもたらすんだという部分のところの生きざまっていいでしょうか、自分の目標に向かって、精いっぱいこつこつと進んでいくという生き方の姿勢にも、学ぶべきことが非常に多いんじゃないかというふうに私は捉えました。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

田原洋子議員。

○7番（田原洋子君）

まさにそのとおりだと思います。羅漢和尚の面白いところは、成し遂げたすばらしい人だけで終わるのではなくて、最後の最後は、自分でお墓に生きてまま入っただけど、苦しくなって、助けてくれて感で、人間らしさがあるところが魅力だと思っています。

今回は、羅漢和尚をクローズアップしましたが、糸魚川には多くの史跡や伝説、伝統があります。子孫繁栄、豊作豊漁、災害が起こらないように願う人の営みがあった証拠です。知ってるようで知らないこと、糸魚川のこと、歴史のこと、先人からの知恵を受け継いで、次の世代に引き継いでいくのは、私たち世代の大切な役目だと思っています。

秋には、健康を兼ねたふるさとウオークが、各公民館とか地域で多く開催されます。たくさんの方が参加されて、地元の糸魚川のよさ、歴史を学ぶ機会が増えることを願って、私の一般質問を終わります。

ありがとうございました。

○議長（松尾徹郎君）

以上で、田原洋子議員の質問が終わりました。

暫時休憩いたします。

再開を50分といたします。